

クーリエ・ジャポン 広告企画事例集

23年9月【更新版】

海外ニュースをお届けするクーリエ・ジャポンは、創刊から17年、完全電子版へ移行して7年が経ちました。創刊時に掲げた「世界の潮流と多様な価値観」を読者にお届けする方針は、現在も変わりません。

連動する広告タイアップ企画は、D&Iや環境問題といった社会課題から、観光やワーケーションまで。企業が多様な価値観を求められるこれからの時代に向け、前進する姿をお届けする事例が増えております。

- P 3 メール広告 **【Update!】**
- P 6 沖電気工業 様 **【Update!】**
- P 7 テルモ 様
- P 8 野村総合研究所 様
- P 9 第一三共ヘルスケア 様
- P 10 伊藤忠商事 様
- P 11 日産自動車 様
- P 12 カナダ観光局 様
- P 13 旅する編集部企画

COURIER! MUSTREAD 必読記事 FEATURES 特集・連載 THINKERS 世界の思想家 VIDEO 動画 BOOKS 4月の半信 Search ログイン 新刊

#未来を読み解く #世界の闇を知る #人生の哲学 #キャリアの真髄 #恋愛・コミュニケーション #睡眠 #世界が見たニッポン #フリー・ワイルド芸術 #アドラー心理学

男性が家事をするようになるために必要なこと © 4min | 2023.3.5

EDITORS' PICKS
エディタース・ピック

最新の研究でわかった「男女が平等に家事や育児をできない理由」
カンパセーション

MOVIES [宮沢和史] 宮沢和史 今はこの5冊が読み放題! プレミアム WSJ 日本



会員向けメール広告

COURRIER!

提供: NVIDIA

クーリエ・ジャパン読者の皆様にお知らせ

Quadro (グラフィック) が発表した「最も着せがいのある半導体企業」ランキング2021年では1位に輝いたNVIDIA (エヌビディア)。ゲーミングやCADを使った設計製造などグラフィックス分野で業界を牽引し、近年は同じプラットフォームをAIや深層学習などの分野に応用することで、ロボティクスや自動運転をはじめ、農業やアトム解析といった社会課題を解決するソリューションを提供。更にはアートやクリエイションの分野でAIと人間のコラボレーションといった新たな領域でも大きな存在となっています。

そんなNVIDIAが最先端の技術と実用事例を一挙に紹介するオンラインカンファレンス、GTC 2022 Springが3月22日から開催されます。

有意義なお話し合い、ライブでは質疑応答が可能なため、オンデマンド配信で好きな時期にご覧いただけますので、お気軽にご登録、ご参加ください。

▼▼▼詳細・参加登録はこちら (参加無料) ▼▼▼
<https://www.nvidia.com/ja-jp/gtc/spring2022>

TIME(タイム誌)で2021年の最も影響力のある人にも選ばれたことのある創業者CEO ジェンスン・ファンとの経歴講演 (日本語字幕付) やAI技術とクリエイターのコラボレーションで手塚治虫の新作漫画を生み出した『TEZUKA2020』プロジェクトに技術提供したトヨタとNVIDIAの対談など、GTCでしか体験できないユニークなセッションを多数取り揃えております。

皆様のご参加をお待ちしております。



▼▼▼NVIDIA 創業者CEOのサイン入りGe Forceが当たるキャンペーンも実施中▼▼▼

詳しくはこちらから。
<https://nvidia.wvs3G9Q0U6>

【基調講演】
 <S442289> NVIDIA 創業者CEO ジェンスン・ファン
 世界中から注目を受ける基調講演ではNVIDIAの最新のテクノロジーを活用し、世界の様々な課題を解決するための新しい提案をお話しします。
<https://www.nvidia.com/ja-jp/gtc/keynote?nid=sem-prom-397001>

【対談】
 <S442699> TEZUKA2020とはなんだったのか? トップランナーと考える「AIと創造」の現在地と未来予想
<https://www.nvidia.com/ja-jp/gtc/session-catalog?search=542592&tab=schedule&orderdemand=1583520458947001&E#session/1543237845008701&EN2Q>

【NVIDIA GTC 2022 Spring】
 日程: 2022年3月21日 - 24日
 料金: 無料 (事前登録制)
 注:DLワークショップを受講される場合、別途受講料が必要です。

COURRIER!

提供: サイマル・インターナショナル

クーリエ・ジャパン読者の皆様にお知らせ



1969年アポロ月面着陸の同時通訳で脚光を浴び、以降通訳業界を牽引しているサイマル・インターナショナル。その養成スクールであるサイマル・アカデミーが、今秋オンラインによるイベント「通翻EXPO 2023秋」を開催します。

独立行政法人国際協力機構(JICA)による特別講演をはじめ、現役の通訳者のライフスタイル、知らざる映像翻訳の可能性、通訳職の市場動向など、ここでしか見ることのできないウェビナーを全8年配信予定です。

その第一節で生きたプロフェッショナルがどんな道を歩んできたのか、通訳者・翻訳者の仕事の魅力と現状をお伝えします。

普段から英語を使って仕事をされている方、これからもっと活かしてみたい方、キャリアアップを検討の方、英語を使った仕事の最新情報ともいえるプロの通訳者・翻訳者の世界をぜひ覗いてみてください。

【ライブ配信】



9.11(土) 11:00 ~ 12:00
「伝えたい」を仕事に!
私の通訳ライフ

9.13(土) 11:00 ~ 12:00
あなたの知らない映像翻訳の世界
—その多様性と可能性—

9/2(土)「伝えたい」を仕事に! 私の通訳ライフ / 小林 理沙子 (元通訳者)
 9/9(土) あなたの知らない映像翻訳の世界—その多様性と可能性— / 菊地 大悟 (株式会社十印)

【オンデマンド配信】



言葉を紡ぐ
 ~中国語を生涯の友として~

国際協力の駆け出し
 ~JICA研修監理員とは?~

学びながらキャリアを積む
 ~一層仕事のキャリアチェンジ~

COURRIER!

物産の盛況の中、国際展開を志す多くの企業が自身の異業連携を推進されるようになってきました。動画やネットから異業連携に関するさまざまな情報が発信されていますが、その手法が自分にとって最適なのかを判断することは非常に難しい問題です。

今回の講師も社会人自身に経験で異業連携を始めたものの、なかなかうまくいかなかった一人です。ポイントが勉強することは、リテラシーの高い第三者視点からアドバイスしてもらうことだと講師の高橋氏は遠慮なく語り続けます。

こうした経験を通して、お金に関するセミナーを取り除く前提向けの金融リテラシー向上セミナーを開催いたします。新しい異業連携のアイデアだけでなく、事業を推進し自分に合った異業連携は何かを伝える時間となっております。将来のために自身の事業開拓を整理したい方をお集まりいただき、有意義なセミナーをぜひご活用ください。

参加申し込みはこちらから

【日時】
 9月5日(水) 20時~21時開催

【参加費】
 無料

【主催】
 アクサ生命保険株式会社

【講師】
 会社名: 株式会社新光FPサービス
 講師名: 高橋まり野(たけはし まりの)



【講師プロフィール】
 主婦出身
 大手株式会社営業職員を経てフリーランスに転身。その後、仕事の場を広げるため、新光FPサービスにファイナンシャルプランナーとして所属。現在、企業向けセミナー・個人向けのライフプランセミナーなどのセミナー講師を中心に活動中。年間200回を超えるオンラインセッションを手掛け。

出会ったすべての方がこれから先の人生を安心して楽しく過ごせるようにお手伝いするを目標に掲げ、お客様それぞれの人生に寄り添うコンサルティングが魅力となっている。講師は経験豊富なファイナンシャルプランナー、住宅ローンアドバイザー、保険担当士の資格を持つ。

【講師からのメッセージ】
 「お金のこと、将来のこと、何をどうすればいいのかわからない……ネットでも調べても情報が溢すすぎて、結局何がベストなのかわからない……」このように思われた経験のある方いらっしゃいませんか? もしも、このように悩まれている方は是非お気軽に「異業連携」を始めてみてください。

至善も社会人人生の目標は多岐にわたります。そんな中、開拓を推進しては、目的がはっきりしない異業連携をやっては何もなし……を繰り返していたら、


Event Promotion

エヌビディア様
 サイマルインターナショナル様
 アクサ生命保険様

15万人をこえるクーリエ会員に ダイレクトアプローチ

海外志向の高いクーリエ読者に直接的なアプローチが可能に。
 グローバル展開企業が主催する国内イベントや、通訳翻訳者等を対象としたイベント等、当会員メール広告を通じて多くの方に参加申し込みをいただいております。

メニューはこちら
<https://ad.kodansha.net/info/detail/880/>

 タイアップ記事広告

FEATURE-COMPANIES-GROW-STRONGER-THROUGH-DIVERSITY-AND-INCLUSION

6min | 2023.9.8

「社会の大丈夫」も「社員の大丈夫」もつくるために【PR】

生まれ変わる老舗メーカーOKI 「多様性」×「前向き」の先にあるもの



OKI Style Square TORANOMONにて。新たな価値を“共創”する空間だ。後ろに見えるのは、業務特化型のリモートDXプラットフォームREMOWAY™

画像ギャラリー



クーリエ・ジャポン (PR)

フォロー

Text by COURRIER Japon

創業から140年以上にわたって脈々と受け継がれてきた「技術」と「信頼」で、沖電気工業株式会社 (OKI) はさまざまな社会課題の解決に取り組んできた。そのOKIがいま、さらなる飛躍に向けて生まれ変わろうとしている。キーワードは「多様性」、そして「前向き」だ。

【「働きたくなる企業」の秘訣・D&Iで組織は強く...

後で見る

共有

DIVERSITY & INCLUSION

沖電気工業株式会社

生まれ変わる老舗メーカーOKI 「多様性」×「前向き」の先にあるもの 23.9.8

8年後に創業150年となる日本最初の通信機器メーカー沖電気。いま同社が組織風土改革に向けて取り組む制度改正や、現場で働く担当者の方に動画を交えたインタビューを実施。同社が進める「多様性×前向き」とは。

<https://courrier.jp/news/archives/334132/>

<https://www.youtube.com/watch?v=-0A72jrvbrg>



BUSINESS

6min | 2023.5.26

医療を通じて社会に貢献するために【PR】

「社員の8割が外国籍」医療機器メーカー・テルモが展開するグローバル人事戦略



左から、テルモ経営役員チーフヒューマンリソースオフィサー(CHRO)・グローバル人事部長の足立朋子氏、人財開発室副室長の廣瀬美緒氏、DE&I推進室室長・ポーレートアフェアーズ(中国事業)部長の白須理恵氏 Photo by Akemi Ichitani



クーリエ・ジャポン(PR)

Text by COURRIER Japon

北里柴三郎博士をはじめとする医師たちが、良質な体温計を製造するために「赤線検温器株式会社」を立ち上げたのは1921年、第一次大戦後のことだ。この会社が現在の医療機器メーカー「テルモ株式会社」(以下、テルモ)に繋がる。コロナ禍では、重症患者の治療に使われた同社の体外式膜型人工肺「エクモ(ECMO)」の名前を耳にした人も多いだろう。

「医療を通じて社会に貢献する」ことを企業理念に掲げるテルモは日本に本社を構え、世界160以上の国と地域で事業を展開している。パンデミックを経たいま、世界中で医療機器を提供しているテルモはグローバル企業としてどのような発展を遂げているのだろうか。同社経営役員チーフヒューマンリソースオフィサー(CHRO)・グローバル人事部長の足立朋子氏、DE&I推進室室

DIVERSITY & INCLUSION

テルモ株式会社

「社員の8割が外国籍」 医療機器メーカー・テルモが展開する グローバル人事戦略 23.5.26

世界160以上の国と地域で事業展開し、3万人を超える社員の8割が外国籍となるグローバル企業「テルモ」。

社員が、国籍や性別を超えて活躍できるために、多様性を重視した職場環境づくりをどのように行っているか、3名のご担当者様にお話を伺いました。

<https://courrier.jp/news/archives/325374/>

BUSINESS

7min | 2023.6.1

時代や人にあわせ「キャリアパス」にも変化を【PR】

人がビジネスそのもの——多様性を「強み」に変える野村総合研究所のカルチャーに迫る



多様性を受け入れることは社員のエンゲージメントを高めるだけでなく企業としての強さも生み出す

COURRIER クーリエ・ジャポン(PR)

Text by COURRIER Japon

変動する時代に追従すべく、多くの企業が人材や働き方の多様化を急ぐ。

株式会社野村総合研究所(NRI)では、この「多様性を受け入れる」ということが当たり前の文化として培われてきた。事実、コンサルティング事業とITソリューション事業を併せ持つ企業でありながら社員の平均勤続年数は長く、満足度は高い。



では、多様性を受け入れるNRIの文化は、どう生まれ、育まれたのか——そのプロセスを辿ると、多様性こそがNRIの揺るぎない競争力の源だとわかる。

DIVERSITY & INCLUSION

株式会社野村総合研究所

人がビジネスそのもの—— 多様性を「強み」に変える野村総合研究所 のカルチャーに迫る

23.6.1

トップクラスの充実した人材育成・支援制度を誇り、社員の平均勤続年数も長いNRI。自由度が高い職場環境であり「多様性を受け入れる」が当たり前の社内文化として培われている。この文化はどう生まれ、育まれたのか、プロセスを辿る。

<https://courrier.jp/news/archives/323501/>

SOCIETY

5min | 2023.4.20

生理と上手につきあう社会をめざす鎮痛薬「ロキソニンSプレミアムファイン」【PR】

「生理痛対策の新たな選択肢のひとつにしてほしい」
第一三共ヘルスケアが「ロキソニン」の新製品に込めた
思い



第一三共ヘルスケア ブランド推進本部「ロキソニン内服薬シリーズ」ブランドマネジャーの土合桃子さん Photo: Maki Kusakabe



クーリエ・ジャポン (PR)

痛みをうまくコントロールすることを生理痛対策の選択肢のひとつにしてほしい——。そんな思いから、第一三共ヘルスケアの解熱鎮痛薬ブランド「ロキソニン」より新たな鎮痛薬「ロキソニンSプレミアムファイン」が発売された。

生理痛のメカニズムに着目した独自処方について、新製品発売を機に打ち出したブランドメッセージ「#生理痛を甘く見ないでほしい」に込めた思いについて聞いた。

「フェムテック」という言葉をご存じだろうか？ Female(女性)とTechnology(テクノロジー)を掛け合わせた造語で、女性の健康を支える技術や商品、サービスのことを指す。

HEALTH ISSUE

第一三共ヘルスケア株式会社

「生理痛対策の新たな選択肢のひとつにしてほしい」第一三共ヘルスケアが「ロキソニン」の新製品に込めた思い 23.4.20

女性活躍やジェンダー平等が推進されるなか、生理痛における悩みが当事者だけでなく、社会全体の損失にもつながっている実態について。

家族やパートナー、学校や職場など、社会全体が生理痛に対する課題意識をもつことで、当事者が我慢以外の選択肢を選べるような環境を、整えていくことを目指す同社の取り組みを紹介しています。

<https://courrier.jp/news/archives/320177/>

BUSINESS

7min | 2023.3.28

目指すのは「環境新素材のデパート」【PR】

伊藤忠商事が木材から生み出す新たな価値



「セルロースナノファイバー」を用いた筆爪(左)と、紙とプラスチックそれぞれの強みを合わせも素材「PAPTIC」(右)



クーリエ・ジャポン(PR)

Text by Yasuaki Hirai



SDGsの達成に向けた取り組みが世界規模で加速するいま、「環境配慮型素材」に大きな注目が集まっている。

環境配慮型素材とは、簡単に言えば原料調達から製造、使用、廃棄に至るまで、あらゆる段階で環境への負荷が少ない素材のこと。脱プラに貢献する、CO2排出量が少ない、持続的な供給が可能などの特長を持つ。

環境配慮型素材の中でも今取り上げるのは、木質繊維から生み出す新素材だ。そもそも、木質繊維を取り扱う紙パルプ産業は、資源循環型産業といわれている。紙パルプ産業は、「森林」

SUSTAINABILITY

伊藤忠商事株式会社

伊藤忠商事が木材から生み出す新たな価値

23.3.28

SDGsの達成に向けた取り組みが世界規模で加速するなか、原料調達から製造、使用、廃棄に至るまで、あらゆる段階で環境への負荷が少ない「環境配慮型素材」に注目が集まっている。紙パルプ分野に強みを持ち、古くから木質環境新素材の開拓に取り組んできた伊藤忠商事に話を聞いた。

<https://courrier.jp/news/archives/315299/>

BUSINESS

7min | 2022.12.16

EVに乗ると人より一歩進んだ経験ができる【PR】

堀潤さん「美しい車を持つと所作も変わってくる」——日産「CLEAN STAND」を体験して見えてきたEVの未来とサステナビリティ



EVで始める

人と社会に丁寧な暮らし

ジャーナリストの堀潤氏が日産「CLEAN STAND」を取材 | Photo: Maki Kusakabe



クーリエ・ジャポン (PR)

Text by Yasuaki Hirai



前回の記事では、電気自動車（以下EV）をめぐる世界の潮流や、EV販売台数11年連続No.1*を誇る日産自動車によるEV開発の歴史、さらにEV普及に向けて今年の2月から3月にかけて開催された画期的なイベント「GREEN PASSプロジェクト第1弾 GREEN LOUNGE」について伝えた。

*2011年より、一般社団法人日本自動車販売協会連合会および全国軽自動車協会連合会公表資料に基づく日産調べ

日産自動車は「人とクルマと自然の共生」を環境理念に掲げ、いち早く環境負荷低減に関わってきた。そんな日産自動車のSDGsへの取り組みとして「GREEN PASSプロジェクト」がある。今回は、同プロジェクトの第2弾として、すでにSNS等で話題となっている「CLEAN STAND」の様相を、ジャーナリストの堀潤氏がレポートする。

SUSTAINABILITY

日産自動車株式会社

日産「CLEAN STAND」を体験して見えてきたEVの未来とサステナビリティ

22.12.26

EV（電気自動車）国内販売台数No.1の日産自動車が、EVの普及啓蒙を目的とし、EVオーナー向け特別サービス「CLEAN STAND」を東名高速「足柄SA」で期間限定で実施。ジャーナリストの堀潤氏がその模様をレポートしました。

<https://courrier.jp/news/archives/309163/>

Supported by **CANADA**
THE SLOWING
HUBS



カナダの、その奥へ——。

「コロナ後」の旅の行方を探しに、クーリエ・ジャポンの編集部員がカナダを再訪。そこで出会った日本からの旅作りの達人たちと旅の行方を追って、いざ、カナダの、その奥へ——。

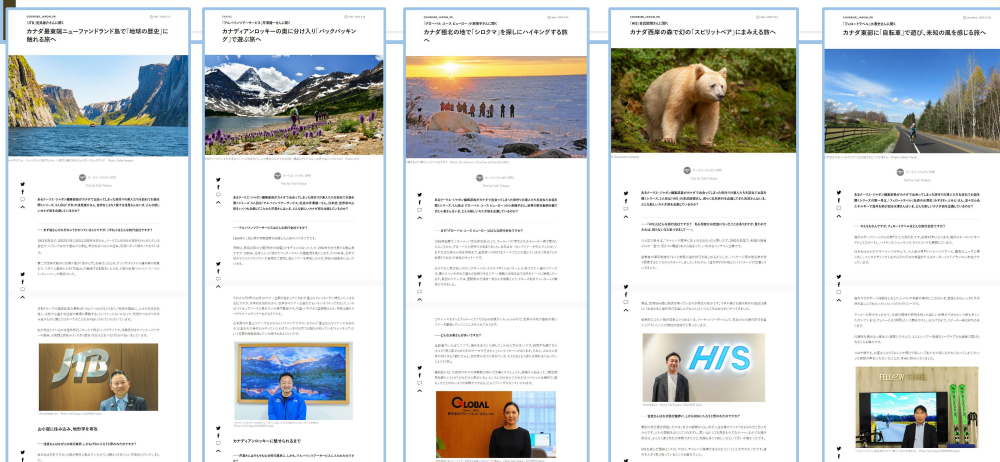
TRAVEL

カナダ観光局

カナダの、その奥へ——。 22.12.27～

コロナ禍を経て、旅の目的や仕方がより吟味されたものになっているいま、クーリエの編集者が5名の「旅の達人」に、これまでのツアーとはひと味もふた味も違うカナダの魅力取材。1つの特集としてまとめ。カナダ観光局様による1社提供としております。

<https://courier.jp/news/tag/series-feature-deeper-canada/>



INFO 2min | 2022.11.8

新しい働き方×地方創生の現場へ
久しぶりの“移動編集部” 今回は岐阜県の養老町を訪ねます



クーリエ・ジャポン
 Text by Hiroaki Minami

こんにちは、編集長の南です。

いま、新幹線のなかでこの原稿を書いています。向かうは岐阜県の養老町。今週はこの養老町にあるテレワーク施設「YOROoffice(ヨロオフィス)」に編集部を移して、記事を発信していきます。

クーリエ・ジャポン編集部はこれまで「新しい働き方を実践する」ことをテーマに、徳島県の神山町や北海道の斜里町、富良野市の沿岸部、鳥取県鳥取市など、日本の各地に編集部を移動してきました。

クーリエ・ジャポン @CourierJapan · 11月9日
 最初のアクティビティは、「福地陶房」での陶芸体験。桜皿と熊のせらぎ「花巻」のたから作りをしました。講師の福地さんにはあの「ソリタケ」で長らくデザイナーとして働きながら陶芸もされてきたという、根っからの器好きで、情熱的に話ってくださいました。instagram.com/handmade.fukuc...



クーリエ・ジャポン @CourierJapan · 11月10日
 今回は、五感を刺激する体験を取り入れた「新しいワーケーションの形」を探求するべく、モニタープログラムに参加しています。



ふた人はスームでしか顔を見合わせる機会がありませんが、チーム内でも活発な交流が生まれています。

BUSINESS 7min | 2023.2.3

編集部メンバーがプチ移住&ワーケーション体験
組織が結束する「新しい働き方と休み方」が岐阜県養老町から生まれる



4日間のワーケーションで心身はどう変わった?(写真は養老天帝反転地にて)

画像ギャラリー

クーリエ・ジャポン(PR)
 Text by COURRIER Japon

「新しい働き方」の弊害とどう向き合う?

コロナ禍を経て、リモートワークを取り入れた新

クーリエ・ジャポン @CourierJapan · 11月10日
 久々の実現となった「旅する編集部」。岐阜県養老町のテレワーク施設「ヨロオフィス(YOROoffice)」で、本日もお仕事をしています！ yorooffice.jp

昨日は、久保田家具工房さまで木工体験。生木をナイフで削り、スプーンを作る体験をしました。 kubota-kaji.jp



Courrier Japon / クーリエ・ジャポン
 2022/11/09 · 都

おはようございます。クーリエ・ジャポン編集部は、いま、岐阜県の養老町に移動しております。久々の“移動編集部”です。https://courrier.jp/inf...と見る



NEW WORKING STYLE

旅する編集部企画

クーリエが2016年から始めた“旅する編集部”。旅をしながら働くという実験的なワークスタイルは、コロナ禍での休止を経て2022年11月岐阜県養老町へ。

仕事も観光もできる町づくりを目指す同町で、編集部員がテレワークや地元の観光プログラムを体験。養老町発の「新しい働き方・休み方」を実践しました。

<https://courrier.jp/info/306080/>
<https://courrier.jp/news/archives/313290/>
<https://courrier.jp/news/archives/309959/>